

新型吊り折版「スマートクリップ」成型機の追加導入について

三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：青木 栄一）は、当社加工委託先である信和鋼板株式会社（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：隈部 佳克）に、新型の吊り折版「スマートクリップ」の成型機 1 台を新たに設置し、2026 年 2 月より本格稼働を開始いたしました。



「スマートクリップ」は屋根材に穴をあけず、専用金具に嵌め込むだけで施工が可能な、業界初*の革新的な吊り折版工法として、2024 年 8 月より販売を開始しております。（*当社調べ：2024 年 8 月現在）
工期短縮が可能となり、施工の省力化にも大きく貢献し、雨漏りのリスクも低減されることから、多くのお引き合いをいただいております。

また、本成型機は、2025 年 1 月より販売を開始した新型嵌合折版(屋根)「サンコールーフロック 130」の成型にも対応し、「スマートクリップ」と同様の効果を有していることから、高い期待が寄せられています。

全国的にご好評をいただいております。複数の案件で設計段階からの織り込み活動も進んでいることから、今般、九州地区でのニーズにお応えすべく、関東、東海、中国・四国地区に続く 4 台目の稼働となります。

今後も全国的なおお客様のニーズにお応えするため、他地区においても本成型機を順次導入していく予定です。

三晃金属工業は金属屋根リーディングカンパニーとして、これからも「空と人のあいだに」ある屋根の可能性を追求することで、豊かな未来づくりに貢献してまいります。

以上